

事務事業名		水田農業推進事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		農業課		H28係等名		生産振興係		H27係等名		生産振興係	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化							
目的	対象(誰・何を)	販売農家		対象指標	指標名及び単位			27年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	・米需要に応じた米の生産・水田を利用し国家戦略作物(大豆・そば)や園芸作物の栽培・売れる米づくりや公共施設給食利用等を目的に特別栽培米(こだわり米)の生産を行う			水稻作付け面積(ha) ※年度別作付け面積(報告数値)			796			
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円			販売農家(交付金申請農家)			6460			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	水稻作付設定面積における産地資金交付面積割合(%)			0.16	0.17	0.2	0.2			
	定性目標										
事業概要	平成22年度から、国の制度変更に伴う米の生産調整を行い、生産調整実施者に対してそのメリット対策である経営所得安定対策事業への加入を支援してきた。また、水田のフル活用を推進するため、園芸作物ばかりでなく、大豆、そば、新規需要米といった国の戦略作物の普及・推進を図ってきた。今後5年間に米政策が大きく転換するため、国の制度改革の内容を生産者に対して説明しながら、振興作物の生産を推進していく。										
事業内容					名称			活動指標			
27年度事業内容	1 水田不作付地における作付改善計画書の確認 作付改善計画書提出者のみ				1 計画書提出者数			1 15人			
	2 特別栽培米(こだわり米)の生産奨励 JAによる作付け指導会の開催				2 作付指導会の開催数			2 5回			
	3 国家戦略作物である大豆への転作の推進 (1)需要を高めるための大豆消費拡大の提案 (2)保育園と連携した大豆作付食農体験の実施				3 田植指導会の開催数			3 1回			
	4 水稻生産作業の受委託の推進 水稻作業受託者意見交換会				4(1)つぶほまれ消費拡大料理教室			4(1)3回			
	5 水田協議会への参画(南信州・飯田市)				5 意見交換会			5 1回			
				6 総会・幹事会等			6 10回				
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		500	500	500	500	(県)水田農業経営確立推進指導事業補助金(10/10)					
国庫支出金											
県支出金		500	500	500	500						
起債											
その他											
一般財源											
人件費計(千円)②		3,040		0							
正規職員所要時間		850									
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		3,540	500	500	500						
事業内容・目標達成状況の振り返り	水田をフル活用するため経営所得安定対策交付金を利用し促進を図ってきた。特に大豆栽培への転作に取り組んできた。地元産大豆の安定的な需要を生み出すため、保育園での大豆栽培や一般市民を対象にした大豆の料理教室を開催し、大豆が伝統的な食材であると同時に様々な料理に応用できることを参加者に周知することができた。										
改革改善の考え方	①問題点	農家による自主的な転作を促進する取組が不十分である。									
	②改革提案	農家による自主的な転作を促進させるよう、収益性の高い転作作物の試験的栽培や研究等を行う。また、農地集積の強化による不作付地の解消や、後継者のいない農地を、人・農地プランに結び付けられるよう情報共有の仕組みづくりを行う。									